



Title	居安正教授研究業績
Author(s)	
Citation	年報人間科学. 1991, 12, p. 159-163
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/5359
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学人間科学部〔一九九一年三月〕

『年報人間科学』第二二号一五九頁—一六三頁

居安正教授研究業績

居安正教授研究業績

した。

論文

「一山村の経済と社会」昭和二十九年六月

『ソシオロジ』第三卷一号

「町の社会的性格」昭和二九年一月

高尾一彦篇『日置莊町誌』第三章二節

「マックス・ヴェーバーの国家論 上」昭和三三年九月

「マックス・ヴェーバーの国家論 下」昭和三四年四月

『ソシオロジ』第六卷第三号

「戦後国民代表の構成と変化」昭和三五年五月

『ソシオロジ』第七卷第三号

「寡頭制と民主制」昭和三七年一月

『社会学評論』第一二卷第一号

「G・モースカの『支配階級論』覚え書」昭和三九年九月

『ソシオロジ』第一一卷第一・二合併号

「大阪市初等教育界における学閥」(共著)昭和三九年一二月

『社会学評論』第一五卷第一号

「政治への職業」昭和四〇年一〇月

『関西大学新聞学研究』第一五号

「G・モースカの議会主義と反民主主義」昭和四〇年一月

『関西大学文学論集』第一五卷第一一四合併号

功績

主な研究テーマ

政党派閥の社会学的研究およびG・ジンメル研究。

自由民主党および日本社会党などにみられる政党の派閥を、大衆民主制のもとにおける日本の政党の議員政党的な性格から生じたものとする観点から、その形成の過程、構造と機能を明らかに

「政治の病理」 昭和四一年一月

大橋薰篇『社会病理学』 有斐閣

「V・パレートの生涯」 昭和四二年二月

『関西大学新聞学研究』第一七一一九合併号

「エリート理論の成立」 昭和四二年一〇月

『関西大学社会学論集』第一卷第三号

「政治集団の病理」 昭和四三年九月

那須宗一他編『社会病理学辞典』 誠信書房

「エリート・職業政治家・職業革命家」 昭和四五年五月

池田義祐他編『支配』 川島書店

「G・ジンメルの形式社会学における社会化の形式と内容」 昭和四八年四月

「エリート理論とマルクス主義」 昭和五八年五月

神戸大学社会学研究室『産業化と地域社会の変化』 赤穂市

「エリート理論とマルクス主義」 昭和五八年五月

法律文化社

佐藤智雄編『歴史としての現代社会』 中央大学出版部

「110世紀革命とエリート論者たち」 昭和四九年四月

堀先生退官記念論文集『社会学の諸問題』 晃洋書房

「エリート理論とファシズム」 昭和五〇年二月

樺俊雄博士古希記念論文集『歴史社会学とその周辺』 中央大学出版部

「相互作用と社会過程」 昭和五一年一月

本間康平他編『社会学概論』 有斐閣

「交換と贈与」 昭和五一年一月

現代社会学会議『現代社会学』第三卷第一号

「ある農村指導者の口述史」 昭和六年三月

『社会学雑誌』第三号 神戸大学社会学研究会

「大衆民主制の日本の展開と政党の派閥」 昭和五一年四月

西村先生退官記念論集『日本の社会』 晃洋書房

「中期ジンメルの社会学」 昭和五四年三月

阿閉吉男編『ジンメル社会学入門』 有斐閣

「エリート理論とエリート主義」 昭和五六六年四月

安田三郎他編『基礎社会学』第四卷 東洋経済新報社

「投票行動の動態」 昭和五七年三月

神戸大学社会学研究室『産業化と地域社会の変化』 赤穂市

「金権化・怨念化の政治社会学」 昭和五八年五月

『中央公論』 昭和五八年五月号

「地域組織と選挙」 昭和五八年一月

間場寿一編『地域政治の社会学』 世界思想社

「鳥取県の政治概況」 昭和六〇年五月

『ソシオロジ』第三〇卷第一号

「自民党一派閥の社会学」 昭和六一年一月

『創造の世界』第六〇号 小学館

「国会議員の社会的構成」 昭和六二年八月

『近代』第六三号 神戸大学「近代」発行会

「ある女性地方議員の誕生」 昭和六三年三月

『社会科学』第四〇号 同志社大学人文科学研究所

著書

『現代社会学ノート』（共著）

昭和四〇年六月 潮文社

『吹田市における政治・社会意識の実態』（共著）

昭和四六年三月 関西大学経済・政治研究所

『現代社会とデモクラシー』（共著）

昭和四八年一〇月 ミネルヴァ書房

『現代社会学』（共著）

昭和五三年四月 アカデミア出版会

『ウェーバー支配の社会学』（共著）

昭和五四年五月 有斐閣

『現代の社会学』（共著）

昭和五六年四月 ミネルヴァ書房

『政党派閥の社会学一大衆民主制の日本の展開』

昭和五八年一月 世界思想社

『ジンメル著作集』第一二卷（共訳） 昭和五一年七月 白水社

『ジンメル著作集』第三卷（共訳） 昭和五三年七月 白水社

『ジンメル『秘密の社会学』 昭和五四年一月 世界思想社

『ジンメル著作集』第二卷（共訳） 昭和五六年一月 白水社

『自民党一この不思議な政党一』

昭和五九年一〇月 講談社

『鳥取県の地方議員』（共著）

昭和六〇年三月 科研報告書

『ある保守政治家』 昭和六一年一月 お茶の水書房

『日本政治を読む』（共著）

昭和六二年八月 有斐閣

『同時代の生活史』（共著）

平成元年三月 未来社

翻訳

ジンメル『闘争の社会学』（共訳） 昭和四一年三月 法律文化社

ジンメル『社会分化論・社会学』 昭和四五年一月 青木書店

ジンメル『集団の社会学』（共訳）

昭和四七年九月 ミネルヴァ書房

ブラウ『交換と権力』（共訳） 昭和四九年一月 新曜社

ザイデルフェルト『抽象的社會』

昭和五一年三月 ミネルヴァ書房

『ジンメル著作集』第一二卷（共訳） 昭和五一年七月 白水社

『ジンメル『秘密の社会学』 昭和五四年一月 世界思想社

『ジンメル著作集』第二卷（共訳） 昭和五六年一月 白水社

『ジンメル『宗教の社会学』 昭和五六年一〇月 世界思想社